



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社雨風太陽 上場取引所 東
 コード番号 5616 URL <http://ame-kaze-taiyo.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 高橋 博之
 問合せ先責任者（役職名） 取締役コーポレート部門長（氏名） 相澤 まどか TEL 03-6278-7890
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第3四半期の業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	675	14.0	△171	—	△172	—	△174	—
2023年12月期第3四半期	593	—	△211	—	△170	—	△171	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△72.44	—
2023年12月期第3四半期	△101.22	—

(注) 1. 2022年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

3. 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	944	335	35.5
2023年12月期	1,290	449	34.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 335百万円 2023年12月期 449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,009	5.6	△170	—	△170	—	△173	—	△71.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（2024年11月14日）に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	2,415,550株	2023年12月期	2,353,050株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	—株	2023年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	2,411,900株	2023年12月期3Q	1,695,596株

(注) 当社は、2023年9月2日付で普通株式1株につき250株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は2024年11月14日(木)にオンライン決算説明会を開催する予定です。

この説明会の内容及び決算補足説明資料については、速やかに当社IRサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しに加えて、各種政策効果やインバウンド需要の高まりにより、緩やかな回復基調となりました。一方で、円安の進行は一服したものの、原材料・エネルギー価格高騰による物価上昇は続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況下において、当社は、民泊、農泊や古民家泊など、ユニークな宿泊体験を提供する宿泊予約サイト「STAY JAPAN」を運営する株式会社百戦錬磨を9月に関連会社化しました。これにより、当社の持つ全国約8,400名の生産者ネットワークと、約1,500件の宿泊施設が登録されている「STAY JAPAN」を活用し、生産者の下での体験と現地での宿泊を組み合わせたユニークなサービスを提供することで、インバウンド需要を取り込むだけでなく、更なる地方の活性化と持続可能性の向上に貢献していきます。

個人向け食品関連サービスについては、不作や需要拡大等の影響でスーパー等で米不足が続く中、産直EC「ポケットマルシェ」上で生産者から直接購入するユーザーが増加し、ピーク時には米・穀類の販売額が前年比約10倍に増加しました。また、販売可能商品を9月より拡大し、醤油・味噌などの調味料や日本酒・ワインなど酒類まで出品可能範囲を拡張することで流通額の更なる拡大を図ります。

企業・自治体向けサービスについては、産直EC「ポケットマルシェ」を活用した販路開拓・PR事業（例：岩手県・群馬県）、「ポケマルおやこ地方留学」で培ったツアー造成ノウハウを活かした地方への誘客事業（例：岩手県、秋田県、埼玉県）、地域資源の魅力を発掘し、地方への観光や移住に興味を持つ生活者とマッチングをするセミナー事業（例：福島県、宮崎県）など、20を超える行政事業を受託し、実施を進めています。今後は多方面に拡大してきた自治体向け支援サービスの質向上を図ることで、地域の社会的課題の解決、価値提供を進めていきます。

個人向け旅行関連サービスの「ポケマルおやこ地方留学」は、2024年夏季に昨夏5拠点から12拠点まで催行地域を拡大し、延べ346名の親子が地方を訪れ、滞在日数は2,548日に達しました。子どもの第2のふるさとづくりにつながる取り組みとして、民放番組での特集が放映され、都市圏の子育て世代に高いニーズがある状況です。事業開始から3年目を迎え、ツアーグランプリ2024 国土交通大臣賞を受賞、第18回キッズデザイン賞の奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞を立て続けに受賞しており、プログラムの完成度や関係人口創出型の新しい旅行スタイルが高く評価されました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高675,994千円（前年同期比14.0%増）、営業損失171,945千円（前年同期は営業損失211,991千円）、経常損失172,191千円（前年同期は経常損失170,972千円）、四半期純損失174,723千円（前年同期は四半期純損失171,620千円）となりました。

なお、当社は、関係人口創出セグメントの単一セグメントで事業運営を行っておりますが、個人向け食品関連サービス、企業・自治体向けサービス、個人向け旅行関連サービスの3種類のサービスに分類することができ、当第3四半期累計期間の売上は、個人向け食品関連サービス498,808千円、企業・自治体向けサービス135,059千円、個人向け旅行関連サービス42,127千円となっております。

また、当社が主要な経営指標と置いているインパクト指標については、サービス開始より、①顔の見える流通総額は累計で約101億8,554万円、②コミュニケーション数は累計で1,058万7,864件、③都市住民が生産現場で過ごした延べ日数は累計で5,788日となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は854,536千円となり、前事業年度末に比べ422,496千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が284,815千円、未収入金が100,697千円及び売掛金が67,752千円減少したことによるものであります。固定資産は90,307千円となり、前事業年度末に比べ76,624千円増加いたしました。これは主に関係会社社債が30,000千円、関係会社株式が23,400千円及び投資有価証券が15,000千円増加したことによるものであ

ります。

この結果、総資産は、944,843千円となり、前事業年度末に比べ345,872千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は404,829千円となり、前事業年度末に比べ231,178千円減少いたしました。これは主に預り金が66,024千円、未払金が62,346千円及び短期借入金が60,000千円減少したことによるものであります。固定負債は204,879千円となり、前事業年度末からの増減はありませんでした。

この結果、負債合計は609,709千円となり、前事業年度末に比べ231,178千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は335,134千円となり、前事業年度末に比べ114,693千円減少いたしました。これは東京証券取引所グロース市場への上場に伴う第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により資本金及び資本剰余金がそれぞれ30,015千円増加しましたが、四半期純損失により利益剰余金が174,723千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期会計期間時点の業績を考慮し、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました2024年12月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	882,969	598,154
売掛金	139,378	71,626
契約資産	—	20,212
商品	281	107
仕掛品	924	4,604
貯蔵品	41	94
前払費用	10,355	16,805
未収入金	243,268	142,570
その他	—	370
貸倒引当金	△185	△9
流動資産合計	1,277,033	854,536
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	0	0
建物附属設備（純額）	1,526	1,581
車両運搬具（純額）	—	4,197
工具、器具及び備品（純額）	0	388
有形固定資産合計	1,526	6,167
無形固定資産		
商標権	4,083	3,977
無形固定資産合計	4,083	3,977
投資その他の資産		
投資有価証券	—	15,000
関係会社株式	—	23,400
関係会社社債	—	30,000
出資金	10	10
敷金	5,004	5,004
差入保証金	3,058	3,233
長期前払費用	—	3,514
投資その他の資産合計	8,072	80,161
固定資産合計	13,682	90,307
資産合計	1,290,715	944,843

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,276	28,014
短期借入金	150,000	90,000
未払金	140,233	77,887
未払費用	51,081	32,598
未払法人税等	5,392	3,737
未払消費税等	19,338	4,069
契約負債	1,333	1,002
預り金	232,693	166,669
その他	1,659	850
流動負債合計	636,007	404,829
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
資産除去債務	4,879	4,879
固定負債合計	204,879	204,879
負債合計	840,887	609,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,838	625,853
資本剰余金		
資本準備金	395,838	425,853
資本剰余金合計	395,838	425,853
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△541,848	△716,572
利益剰余金合計	△541,848	△716,572
株主資本合計	449,828	335,134
純資産合計	449,828	335,134
負債純資産合計	1,290,715	944,843

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	593,196	675,994
売上原価	217,744	241,813
売上総利益	375,451	434,181
販売費及び一般管理費	587,442	606,127
営業損失(△)	△211,991	△171,945
営業外収益		
受取利息	3	84
受取手数料	1,497	3,209
ポイント還元収入	1,167	986
補助金収入	25,902	—
助成金収入	15,856	—
雑収入	4,614	1,122
営業外収益合計	49,041	5,402
営業外費用		
支払利息	2,457	3,198
上場関連費用	2,000	48
チャージバック損失	2,839	1,822
雑損失	724	579
営業外費用合計	8,022	5,648
経常損失(△)	△170,972	△172,191
税引前四半期純損失(△)	△170,972	△172,191
法人税、住民税及び事業税	648	2,532
四半期純損失(△)	△171,620	△174,723

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年12月18日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2024年1月17日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式62,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ30,015千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が625,853千円、資本剰余金が425,853千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

当社の事業は、関係人口創出事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	823千円	979千円